

学習指導要領		都立葛飾商業高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史へのいざない</p>	<p>ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活との係わりについて知る。 ・漁業や交通・交易の場としての海洋の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 ・内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と人類の生活とのかかわりについて知る。 ・内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 ・仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを知る。 ・漢字文化、儒教、中国を中心とした国際体制などいくつかの事例を通して、日本を含む東アジアに形成された文明の特質を知る。
<p>(2) 世界の一体化と日本</p>	<p>ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教とヒンドゥー教、カースト制度、イスラームの影響などいくつかの事例を通して、南アジアに形成された文明の特質を知る。 ・古代オリエントの遺産、イスラーム教などいくつかの事例を通して、西アジアに形成された文明の特質を知る。 ・古代ギリシア・ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。 ・世界が一体化に向かう前提として、8世紀以降のユーラシア地域間交流について知る。 ・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きとともに、ヨーロッパによる海外進出について触れ、アジア交流圏への参入や、ラテンアメリカの征服・植民地化について理解する。

学習指導要領		都立葛飾商業高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16 世紀から 18 世紀までのアジアの諸地域が、安定した支配と経済の繁栄を背景に黄金時代を迎えたことを知る。 ・ ヨーロッパの主権国家体制の特質と形成過程を理解する。 ・ 大西洋三角貿易による世界の一体化の進展とそれに伴うアフリカ・アメリカ社会の変容を理解する。 ・ 16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について知る。 	
<p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業革命と資本主義の確立について知る。 ・ 資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化したことを知る。 ・ アメリカ合衆国の独立とフランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立を通して、大西洋世界で起こった一連の政治的変動を理解する。 ・ 19 世紀のイタリア・ドイツの統一について知る。 ・ アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。 	
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19 世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18 世紀後半から 19 世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化について知る。 ・ 19 世紀の世界の一体化と日本の開国・明治維新について知る。 	
<p>(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19 世紀後期から 20 世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。 ・ ヨーロッパから南北アメリカやオセアニアへの大規模な移住、中国や南アジアから大量の移民労働者の供給について理解する。 ・ 大量生産・大量消費社会の登場による大衆化の過程で変容した政治や文化について理解する。 	

学習指導要領	都立葛飾商業高校 学カスタンダード
<p>イ 世界戦争と平和</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。 ・第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 ・大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを知る。 ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 ・アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。 ・世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。 ・東アジアにおける日本の動向について知る。 ・第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。 ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について知る。 ・アジア・アフリカの植民地支配からの解放、第三世界の形成について知る。 ・米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について知る。 ・ドル危機や石油危機など1970年代の経済構造の転換について知る。 ・冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 ・EUなどの地域統合の進展について知る。 ・世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様であることを知る。 ・環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題について知る。 ・持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることを理解し、歴史的視野からそれらの問題に関する認識を深め、世界の人々が協調し、共存できる持続可能な社会の実現について展望する。